



おおや



7月号 R8.7.1

学校教育目標「心豊かでたくましい子の育成」

発行責任者
校長 湯本 貴幸

上尾市立大谷小学校 上尾市大字大谷本郷 528 電話 048(781)0120

小中一貫教育でつながる学び

1学期も残すところ、あと1か月となりました。宿泊行事や校外学習など、さまざまな教育活動を通して、子供たちは多くの貴重な学びを積み重ねています。

さて、上尾市では、令和5年3月に策定された「上尾市小中一貫教育基本方針」に基づき、これまでの小中連携の成果や課題、国の教育動向を踏まえながら、小学校から中学校までの9年間を見通した系統的・継続的な教育を推進しています。本校においても、南中学校、鴨川小学校、大谷小学校とともに、南中学校区として小中一貫教育に取り組んでいます。

小中一貫教育の大きな目的の一つは、中学校進学時に生じる環境の変化への戸惑いや不安、いわゆる「中1ギャップ」の解消です。小学校と中学校の学びや成長のつながりを大切にしながら、9年間を見通した教育活動を進めることで、子供たちが安心して進学し、一人一人が自分の力を発揮できるよう支援しています。

南中学校区では、「学習の型の定着を図ることで、主体的な学びにつながるのではないか」という共通の仮説を掲げ、各校の実態に応じた取組を進めています。南中学校では「①ゆだねの授業 ②認知能力の向上」、鴨川小学校では「①かもまるスタンダード ②家庭学習のすすめ」、本校では「①自由進度学習 ②『と・あ・く・ま』の学習法」を推進し、子供たちの自己効力感を高め、確かな学力の育成につなげることを目指しています。

また、日々の授業改善だけでなく、小・中学校の円滑な接続を図る取組も進めています。例えば、「南中学校区生徒指導連絡協議会」や「小中合同教員研修会」を開催し、児童生徒の情報共有や指導方針の確認を行っています。

5月には、南中学校の体育祭予行に両小学校の6年生が参加し、長縄大会を通して中学校生活の一端に触れることができました。また、7月には「南中学校区合同学校運営協議会」の開催も予定されています。

子供たちの学びや育ちは、9年間を通してつながっています。そのため、小・中学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たしながら、力を合わせて子供たちを支えていくことが大切です。

今後も、小・中学校の教職員が定期的に情報交換を行い、授業づくりや生徒指導について共通理解を深めるとともに、児童生徒の交流活動や合同研修を充実させ、子供たちが安心して成長できる環境づくりに努め、9年間を見通した学びの中で、子供たち一人一人の可能性を伸ばしていけるよう、学校区全体で力を合わせて取り組んでまいります。

※暑さも厳しくなってきました。熱中症対策を万全にし、体調を崩しませんようご注意ください。